

取扱説明書

HITACHI

HI-F01SD/M4/M8/HP電話機（卓上専用）

（HI-F01M4/M8はオートダイヤル機能付です。）

このたびはお買い求めいただき、ありがとうございました。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。
- 本説明書はホテル向け電話機用として説明しておりますが、一般電話機としてもお使いいただけます。

特 長

1. クレッシュエンドーン…… 着信音量がだんだん大きくなり、ご宿泊の方をやさしく呼び出します。
2. 着信ランプ……… 着信時、ランプが点滅します。
暗い所で電話が鳴ったときなどに電話機の場所がすぐにわかります。
3. メッセージランプ……… ご宿泊の方が不在中に連絡があった場合、フロントにて用件をうけたまわっていることを知らせる「メッセージランプ」を点滅させることができます。（交換機の機能によります）
4. トーン切替……… ダイヤル回線をご利用の場合でも、プッシュ信号による銀行預金残高照会や、航空券予約等のサービスが利用できます。（HI-F01SD/M4/M8）
5. オートダイヤル……… フロント、マッサージ、モーニングコールなどの内線番号を登録しておくことにより、ワンタッチで発信することができます。（HI-F01M4/M8）

技術基準適合認証品
F-5731-2
922731A2

メモリバックアップ用電池について

- オートダイヤルのメモリをバックアップするため、リチウム電池を内蔵しています。
- 回線を接続（給電）する直前に、切替スイッチの「BAT」を“入”にしてください。
- リチウム電池は消耗品ですが通常のご使用では電池交換の必要はありません。
ただし電話機を長期保管する際は、切替スイッチの「BAT」を“切”にして保管してください。
（この場合オートダイヤルボタンに登録した番号はしばらくすると消えます。）
切替スイッチの「BAT」を“入”にした状態で回線に未接続（未給電）の場合は、電池寿命を縮める要因となります。

仕 様

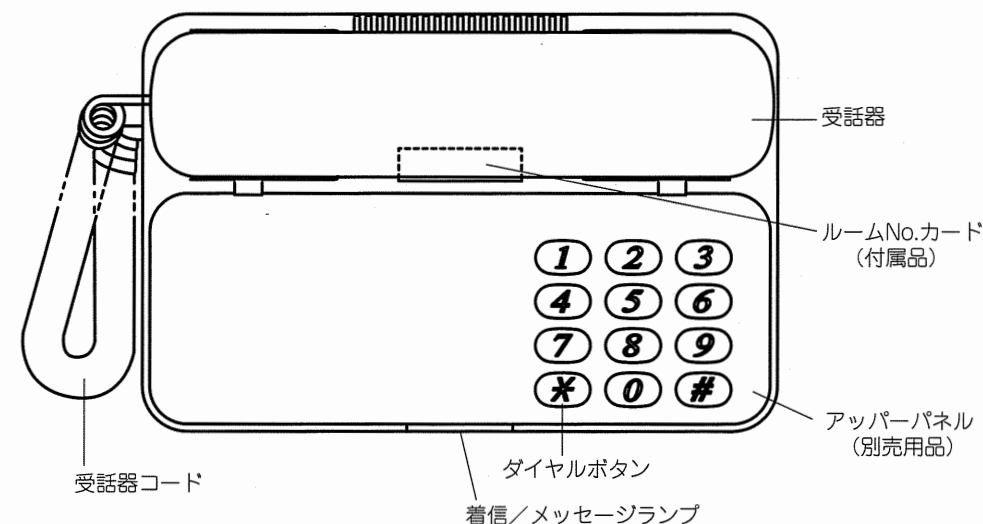
質 量	約0.6kg
寸 法	幅210mm×高さ82mm×奥行き138mm
使 用 電 源	・局／PBX電源 ・リチウム電池（形名：CR2032）※ ※HI-F01M4/M8のみ実装
付 属 品	取扱説明書 1部
	電話機コード 1本
	ルームNo. カード 1枚
	ルームNo. カード押さえ 1枚
別 売 用 品	番号案内カード
	アッパーパネル

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取り下さい。

HITACHI

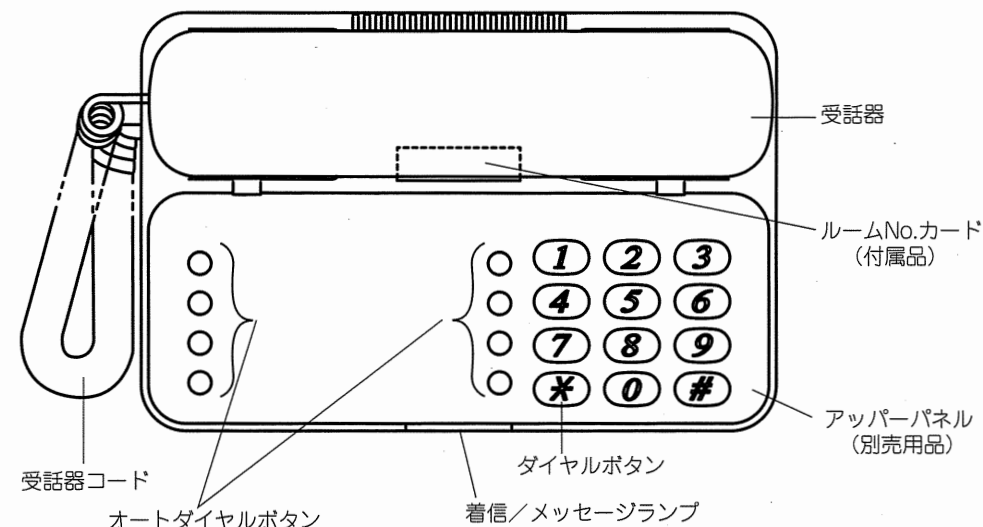
各 部 の 名 称

- HI-F01SD／HP電話機



注：HI-F01HP電話機にはダイヤルボタンはありません。

- HI-F01M4／M8電話機



注：HI-F01M4電話機のオートダイヤルボタンは右側の4個です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電話機の異常状態にお気づきのときは、すぐに電話機コードを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

- ①電話機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ②電話機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ③ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ④電話機を絶対に分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ⑤万一、電話機から煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- ⑥落下等で破損したままで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ⑦お客様が用意された機器を電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ販売店に確認してください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となります。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ①電話機を調理台や加湿器のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ②電話機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- ③電話機や電話機コードを熱器具に近づけないでください。電話機や電話機コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ④電話機を直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

おねがい

誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

- ①電話機は、次のような場所への設置は避けてください。故障・誤動作の原因となります。
 - ちり・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
 - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
 - テレビ・ラジオ・電気こたつ・蛍光灯・アンプ・スピーカボックス・電子レンジ・電気カーペットの上や、家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所及び高周波ウェルダや電気溶接機の近く。やむをえず設置する場合は、最低2m以上離してください。
 - 衝撃・振動のある場所。
- ②机や椅子で電話機コードを踏みつけたりしますと電話機が使えなくなるなどの障害が発生しますので、机の移動などには十分注意してください。万一、障害が発生した場合は販売店までご連絡ください。
- ③硫化水素の発生する場所（温泉地など）や塩分の多いところ（海岸など）でお使いのときは、電話機の寿命が短くなることがあります。
- ④電話機を落としたり、強い衝撃及び振動を与えないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ⑤道路に近くてCB無線が混入する場合、または放送局のアンテナに近くて雑音が混入する場合は、販売店にご相談ください。
- ⑥電話機をベンジン・シンナー・アルコール・石油・熱湯などで絶対にふかないでください。変色や故障の原因となります。布等でからぶきしてください。

使いかた

電話をかけるとき

- 受話器をとり“ツー”という発信音を聞いてから、相手の電話番号をダイヤルします。受話器よりダイヤルタッチ音が聞こえます。
- ご注意** ●回線種別をDPに設定している場合、着信ランプが点滅することがありますが故障ではありません。

電話がかかってきたとき

- 電話がかかってくると着信音が鳴ります。また、着信ランプも点滅します。受話器をとってお話ください。
- 着信音量は切替スイッチを使い、お好みにより調節してご使用ください。
- ご注意** ●クレッシェンドトーン設定時は、着信音が徐々に大きくなって着信をお知らせします。ただし、前の着信から約1分以内に再び着信があった場合は最初から“大”の音量で鳴ります。
- 着信音色の切替機能はありません。

オートダイヤルで発信するとき (HI-F01M4/M8)

- 受話器をとり“ツー”という発信音を聞いてから、オートダイヤルボタンを押すと、あらかじめ登録した相手の番号をダイヤルします。
- 登録していないボタンを押すと“ツー”という発信音だけ聞こえます。
- 登録方法は「オートダイヤルの登録 (HI-F01M4/M8)」をご参照ください。

PB信号によるサービスを利用するとき

<ダイヤル回線で利用するとき>

- 相手につながったら(※)ダイヤルボタンを押し、必要な番号をダイヤルします。受話器をおくと元に戻ります。

<プッシュ回線で利用するとき>

- 相手につながったら、必要な番号をダイヤルします。(※)ダイヤルボタンを押す必要はありません。)

各種機能の設定

電話機本体の正面中央に各種機能の切替用スイッチがあります。アップパーパネルを取付ける前にご使用の条件に合わせて、切替スイッチを設定してください。

切替スイッチ	スイッチ位置	回線種別				
		1	2	3	4	5
↑ (上)	DP	大	切	入	入	
	PB	小	入	切	切	

(アップパーパネルをはずした状態)

メモリアップ電池切替スイッチ (出荷時は“切”側)
注: HI-F01M4/M8のみ使用するスイッチです。オートダイヤルを使用する場合 (登録・取消含む) は必ず“入”側に切り替えてください。また、電話機を長期間保管する場合は“切”側に切り替えて保管してください。この場合オートダイヤルボタンに登録した番号はしばらくすると消えます。

回線種別切替スイッチ (出荷時は“PB”側)
ダイヤル回線の場合は“DP”側に切り替えてください。

着信音量切替スイッチ (出荷時は“大”側)
着信音量を小さくしたい場合は“小”側に切り替えてください。

クレッシェンドトーン切替スイッチ (出荷時は“入”側)
着信音量がだんだんと大きくなります。クレッシェンドトーン機能を止める場合は“切”側に切り替えてください。
注: 着信音量切替スイッチ“小”側では本機能は動作しません。

メッセージランプ切替スイッチ (出荷時は“切”側)
メッセージランプ機能を使う場合は“入”側に切り替えてください。
(メッセージ信号、着信信号各々に応じ、ランプ点滅します。)
注1: 切替スイッチが“切”側の場合、着信信号に反応した着信ランプ表示のみを行います。
注2: メッセージランプ機能を使う場合はL1 (+)、L2 (-) としてください。

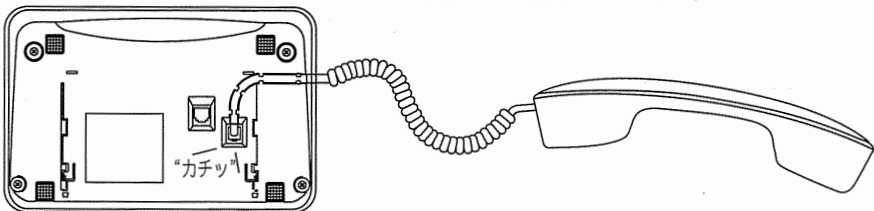
未使用

未使用

LINE

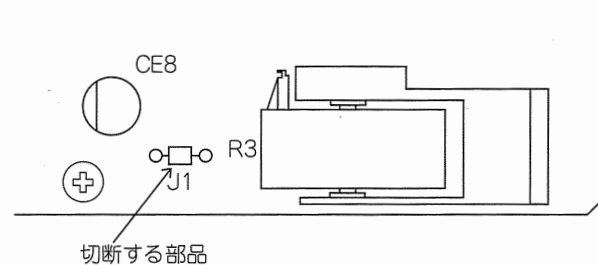
受話器コードの接続

- 受話器コードは底板の凹溝にはわせながら配線してください。
- コネクタ部は“カチッ”と音がするまで確実に差し込んでください。



電話機を2台以上ブランチ接続して使うとき

- 一方の電話機で発信しようとした場合、ダイヤル時に、待機中の電話機が鳴ることがあります。この場合、鳴動する待機中電話機の着信感度を下記方法により切り替えることでこの鳴動を止めることができます。
- <着信感度切替方法>
底板のネジ4本を外して底板を開き、基板のJ1に実装している部品を切断してください。



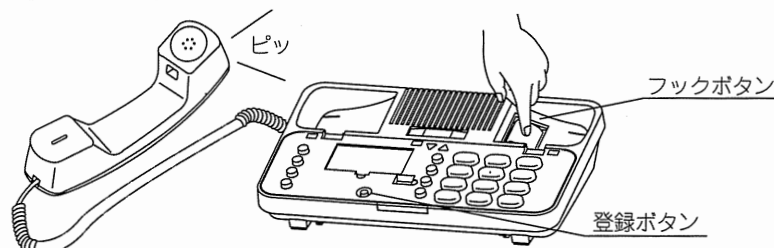
- 同様に一方の電話機がダイヤル時に、待機中の電話機の着信ランプが点滅することがありますが、故障ではありません。
- この作業はお買い求めの販売店にご相談ください。

使用上のご注意

- 共同電話・公衆電話にはご使用になれません。
- ブランチ接続してご使用になる場合、この電話機でダイヤルしたとき、待機中の他の電話機が鳴動することがありますが、故障ではありません。
- 通話しないときは、受話器のコードが左側から出るように確実に置いてください。かけ忘れしたり、受話器のコードを逆の方向に置いたり、受話器の下にコードや物がはさまっていると、通話料金が加算されたり、着信があってもベルが鳴らずに、他の通話のさまたげとなることがあります。
- この電話機と他の電話機とでブランチ通話のときは、電話機や交換機の種類および電話局からの距離によって通話ができなくなることがあります。そのときは片方の受話器をおろしてください。通話ができるようになります。
- 磁気を発生する機器の近く、放送局の送信所、各種無線設備などの近くでの使用は避けてください。
- 電話機をぬらしたり、ベンジン等の薬品を含んだ布や化学ぞうきんで拭くことは、故障や変色の原因となります。乾いた布で拭いてお手入れしてください。
- 受話器の送話口は口の正面にくるように持ってご使用ください。
- 強い外来ノイズ (衝撃、過大な静電気、または落雷など) で、着信/メッセージランプが点滅することがありますが、故障ではありません。
- ブランチ接続している一方の電話機が通話中に、本電話機の受話器を上げると電池を消費してしまふことがあります。
- ボタン電話回線に誤接続すると、電話機が故障する場合があります。

オートダイヤルの登録 (HI-F01M4/M8)

- アップパーパネルは、オートダイヤルの登録後に取り付けてください。
- 切替スイッチのBATを“入”側に切り替えてください。
- 回線を接続 (給電) してください。
- 受話器をはずし、フックボタンを手で押さえて、受話口から聞こえる登録音を確認しながら次の手順で登録してください。



例: オートダイヤルボタンにフロントの番号を登録する場合

- 1 登録ボタンを0.5秒以上押す。“ビッ”
- 2 フロントの番号を押す。“ビッ” … “ビッ”
- 3 登録するオートダイヤルボタンを押す。“ピーッ”
- 4 フックボタンから手を離し、オートダイヤルボタンを押す。登録された番号がダイヤルされることを確認してください。

- 連続して登録する場合には①②③④を繰り返し操作してください。
- 登録完了時に“ピーッ”と確認音が受話口より聞こえます。
- 登録中に間違えたときは、フックボタンから一度指をはなし、再び押さえ、最初から行ってください。
- 一度登録した番号を変更したいときは、再度、上記操作を行ってください。前の番号が消えて、新しい番号が登録されます。
- 登録を消すには②の操作を省略してください。
- オートダイヤルボタンに登録できるダイヤル桁数は最大32桁です。33桁以上押した場合は“ピピピピピッ”とエラー音が受話口より聞こえます。
- 登録ボタンを押して約10秒間なにも操作しないと“ピピピピピッ”とエラー音が受話口より聞こえます。登録を行う場合は再度①より操作をしてください。

アップパーパネルの取り付け方

- アップパーパネルは①～⑦の部分に本体へ固定するためのツメがあります。
- ④～⑦のツメを本体の角穴に合わせこみ、①～③を押し込んでください。

アップパーパネルのはずし方

- ⑧と⑨の部分にアップパーパネルをはずすためのすきまがあります。
- マイナスドライバーなど先の細いもので⑧→⑨の順で持ち上げてはずしてください。
- ①～③のツメを折らない様に注意してください。

